

平成28年度 実施状況報告書 集計結果

滋賀県立びわ湖フローティングスクール

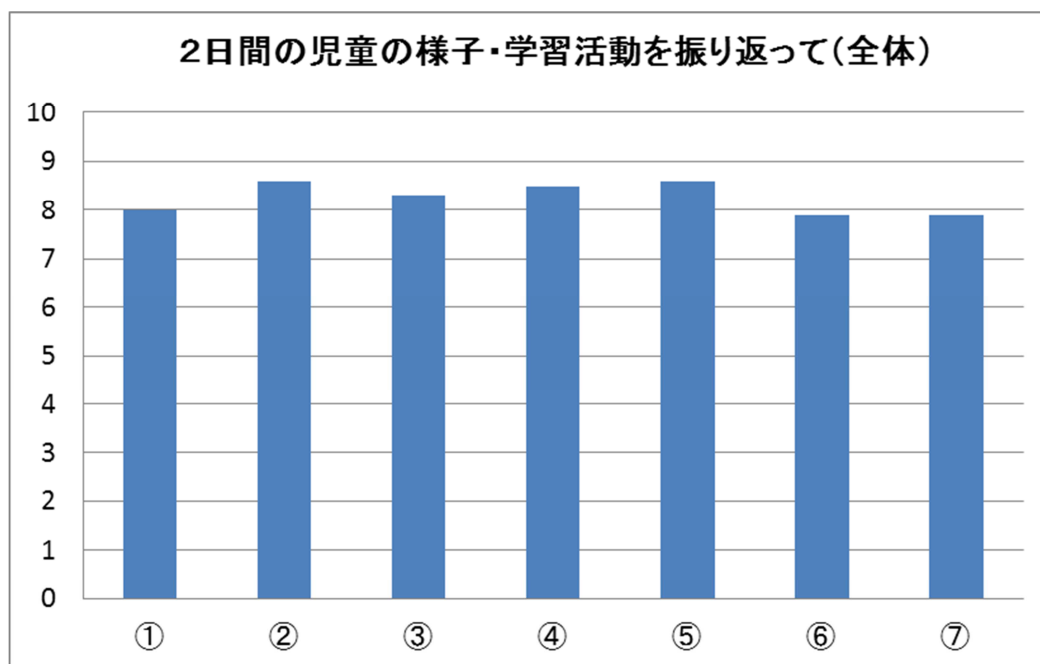
【Ⅰ期～Ⅲ期（第1回～第93回児童学習航海）の集計結果】

1. 評価項目について

- ①児童は3つの「あ」の約束(安全・挨拶・後始末)が守れたか。
- ②児童は食事を楽しく食べることができたか。
- ③児童は係など自分の役割の仕事に責任を持って取り組めたか。
- ④児童は自校や他校の友達と協力して学習や活動ができたか。
- ⑤児童はびわ湖環境学習に対して意欲的に取り組んでいたか。
- ☆⑥児童はびわ湖環境学習の内容を理解することができていたか。
- ☆⑦児童は「びわ湖環境学習のめあて」について、学習活動を通して確かめたり学んだりすることができていたか。

(☆印は今年度の重点目標)

2. 調査結果



質問 時期	①3つの「あ」	②食事 (楽しく)	③仕事の 責任	④協力して 学習・活動	⑤環境学習 (意欲)	⑥環境学習 (理解)	⑦環境学習 (めあての確 かめ・学び)
A	7.9	8.3	8.6	8.3	8.6	7.8	7.7
B	7.8	8.4	8.1	8.5	8.5	8.0	8.0
C	8.0	8.4	8.2	8.4	8.5	8.0	8.0
D	7.7	8.4	8.2	8.1	8.3	7.7	7.6
E	8.3	8.9	8.5	8.6	8.8	8.1	8.2
F	8.4	8.9	8.4	8.8	8.7	8.1	8.1
全体	8.0	8.6	8.3	8.5	8.6	7.9	7.9

※特別支援学校の集計結果は含まない。

A：Ⅰ期（4・5月） B：Ⅱ期（夏季休業前） C：Ⅱ期（夏季休業中）
D：Ⅱ期（9・10月） E：Ⅲ期（11・12月） F：Ⅲ期（1・2月）

3. 乗船校からの考察・所感（主なもの）

- ・学校では決して行うことができない「うみのこ」からのびわ湖展望は、滋賀県の自然の豊かさを実感させ、ふるさとの大切さを考えさせ、児童の情操を育てることができる、フローティングスクールならではの貴重な学習であると感じる。
- ・「プランクトンは魚のえさになるから大切だけれど、多いと水が濁ってしまう。」ということに関心を持った児童が多くいた。様々な視点から物事を考えていける子どもたちにしていきたい。
- ・ニゴロブナの放流をきっかけに、「びわ湖は自分たちが守っていかなくてはいけない。」という気持ちを高めることができた。
- ・インクルーシブ教育システムの構築の推進を図られており、地域で共に生きていくための力の育成は、本校においても特に大切にしている。今回のフローティングスクールでの体験学習はまさに、「交流及び共同学習」の場となった。